

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）平成30年4月1日 （至）平成31年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	電話相談事業収益	22,058,024	14,475,826	7,582,198
	サービス活動収益計(1)	22,058,024	14,475,826	7,582,198
	費用			
	人件費	5,759,351	5,271,163	488,188
	事業費	16,516,102	8,150,418	8,365,684
	事務費	4,653,915	4,437,651	216,264
	減価償却費	271,666	249,310	22,356
	サービス活動費用計(2)	27,201,034	18,108,542	9,092,492
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	-5,143,010	-3,632,716	-1,510,294
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	13,884	14,565	-681
	その他のサービス活動外収益	234,342	276,362	-42,020
	サービス活動外収益計(4)	248,226	290,927	-42,701
	費用			
サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	248,226	290,927	-42,701	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	-4,894,784	-3,341,789	-1,552,995	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	基本金組入額	0		0
	固定資産売却損・処分損	3		3
特別費用計(9)	3	0	3	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	-3	0	-3	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	-4,894,787	-3,341,789	-1,552,998	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	7,424,089	6,465,879	958,210
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	2,529,302	3,124,090	-594,788
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	4,000,000	6,500,000	-2,500,000
	その他の積立金積立額(16)	0	2,200,000	-2,200,000
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	6,529,302	7,424,090	-894,788